

中野区立令和小学校

令和5年7月19日（水）

物語

「夏休み自由研究」の作り方 ～少年松井くん編～



本プレゼンは、北原小学校 佐藤民男校長先生より
提供を受けたものを加工したものです。

●プロローグ●

少年松井くんは、おうちの人と出かけた時にJR山手線・高田馬場駅のホームでおもしろい発車ベルを聞いた。

なんと『鉄腕アトム』の曲が山手線の発車ベルだった。

えっ？　なんで？
鉄腕アトムなの？

少年松井くんは、
とっても不思議に思った。

研究のきっかけ

何でもいいんです。

不思議に思う。
疑問に思う。

ここから、
自由研究は始まります。



●身近な駅に行く●



次の日、少年松井くんはお家の人をお願いしてはいろいろな駅にいっしょに出かけた。

おもしろい発車ベルを探すためだ。

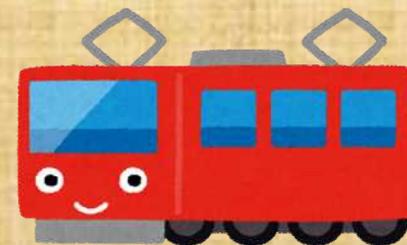
そう思ってまず中央線に乗ったいくつかの駅に行ったらさっそくあった。

高円寺は『阿波踊り』。
阿佐ヶ谷は、ジャズ風の『七夕さま』
だった。どちらも夏におまつりがある。

研究の実際①

実際に動いてみる。
「フィードワーク」といいます。

足で、体で、調べると
本当におもしろい。



●駅員に聞いてみる●

途中の三鷹駅は「メダカの学校」だった
お昼頃、国分寺駅に着いた。

駅員さんの近くに
お客さんがいなかったなので、
勇気をもって、質問した。



「中野区立令和小4年の松井です。
自由研究で発車ベルのことを調べています。
少し質問していいですか？」

駅員さんは、
知らなかったことを教えてくれた。

研究の実際②

実際に関係者に
聞いてみる。
それが
「インタビュー」です。

人と会って話を聞くと、
いろいろなことがわかる。



●本やインターネットで調べる●

次の日、学校の図書室開放に行った。
発車ベルについての本を探すためだ。

でも、見つからない。図書館指導員の
先生に聞いて、ようやく見つけた。

書名は、〇〇著『鉄道の～』
(レイワン出版) だった。

その後、中野区の図書館にも行って見た。
専門の人もいて、また、新しい本が見つかった。
家に帰って

インターネットで調べた。……いろいろわかった！

研究の実際③

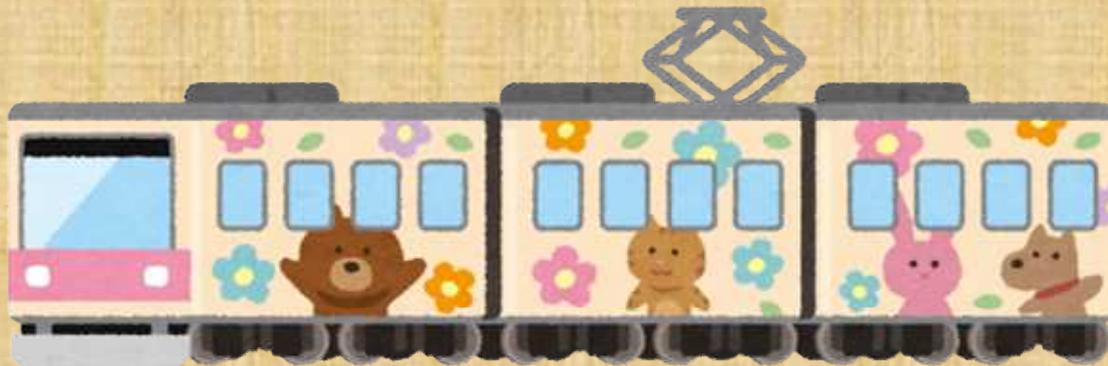
本は貴重な資料だ。
目を通すといい。

インターネットもいい。
だけど、
信用できないものもある
から要注意！



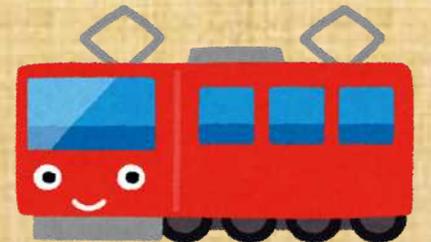
●調べてわかったことをまとめる●

発車ベルは、
その駅のある地域と
深い関係にある人や行事などと
関わりのある音楽が
使われていることがわかった。
新井薬師前や沼袋はどうか？



研究のまとめ①

調べた事実をもとに
わかったことを
まとめるのが
大事。
まとめがないと
意味がないともいえる。



●自分の考えをまとめる●

発車ベルは、本来、
出発を知らせるためのものだ。
だとしたら、
ジリリリリ...ブー...だけでもいい。
でも、実際は駅ごとに変えている。
地域の特色に合わせたメロディに。
これにより、
自分の駅や地域の特色がわかる。
ぼくは、駅が地域を大切にしているんだな、
と思った。これからは全国の発車ベルを
調べてみたい。

研究のまとめ②

最後は、
「自分の考え」を
書いてまとめる。

ここは、すごく大事な
ポイントだ。



●エピローグ●

研究のまとめまでできた。
さて、これをどう表現するか。

ノート、模造紙、紙芝居…いろいろある。
でも、今回、少年松井くんは、
パソコンのパワーポイントを使って
まとめることにした。

やり方は、お家の人に教わった。
発車ベルの音を入れることもできた。
写真も入ってかっこいいのができた。

まとめの形

大きな模造紙に
まとめるのは
いいことだ。
でも、まとめ方は
それだけではない。

今後、役立つ
パソコンで
まとめるのもいい。
挑戦してほしい。



「夏休み自由研究」の作り方①

■内容■

○研究テーマ

- 1 研究のきっかけ（研究の動機、目的）
- 2 研究の方法 →フィールドワーク、実験、本、インターネット
- 3 研究の実際
 - ・調査（フィールドワーク）・実験
 - ・文献（本・インターネット）
- 4 研究のまとめ →「参考文献」はしっかり書く。
 - ①わかったこと
 - ②考えたこと



「夏休み自由研究」の作り方②

■表現方法～まとめの形～■

- ノート
- 模造紙
- 紙芝居
- パワーポイント（パソコン）
- 動画 など

いろいろある！

内容に合ったもの
だれに見せるかななどを
考えて
まとめの形を決めると
いいね。





おしまい



**さあ、少年松井くんが小学校の時にやった
自由研究はどんなことだったでしょう？
知りたい人は声をかけてみてください。**

